

調査速報

メキシコ自動車市場月次統計（2016年11月）

自動車生産台数の減速基調が続く

主任研究員

深尾 三四郎

045-225-2375

fukao@yokohama-ri.co.jp

要約

- 国内販売台数と輸出台数の季調値が共に前月比で減少。生産台数の減速基調が続く。

メキシコ自動車生産台数（季調値）は前月比 3.5%減の年率 351 万台

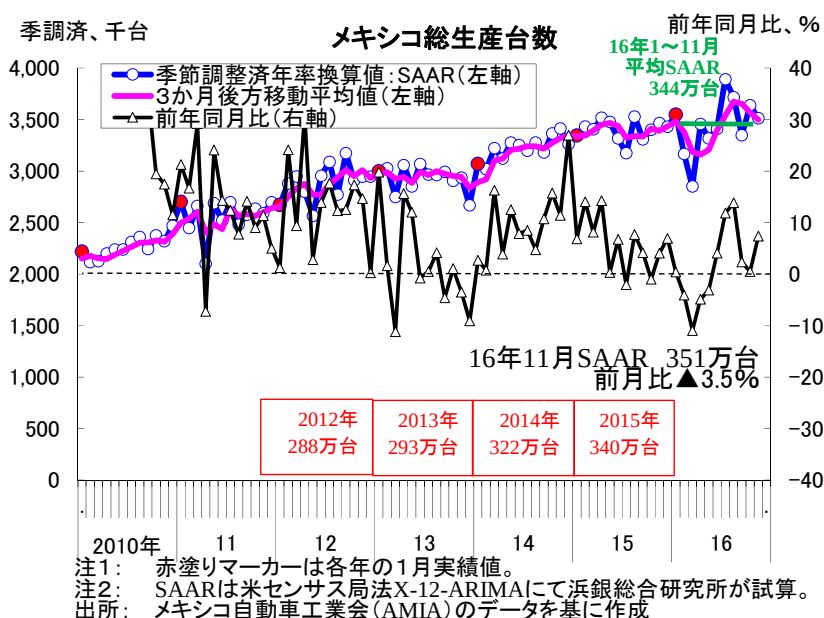
メキシコ自動車工業会（Asociación Mexicana de la Industria Automotriz）が発表した 2016 年 11 月の総生産台数は、前年同月比 7.4%増と 6 か月連続で前年超えしたが、季節調整済年率換算値（当社試算、以下 SAAR）は前月比 3.5%減の 351 万台と減少し、SAAR の 3 か月後方移動平均値でみたトレンドは 3 か月連続で減少した（図表 1）。メキシコの自動車生産は高水準にあるものの、基調は下向き状況が続いている。

11 月の総輸出台数は前年同月比 9.6%増と 4 か月連続の増加となったが、輸出台数の SAAR も前月比 3.5%減の 279 万台と減少した上、SAAR の 3 か月後方移動平均値も前月比でマイナスに転じており、輸出台数のトレンドにおいても頭打ちの状況である（図表 2）。

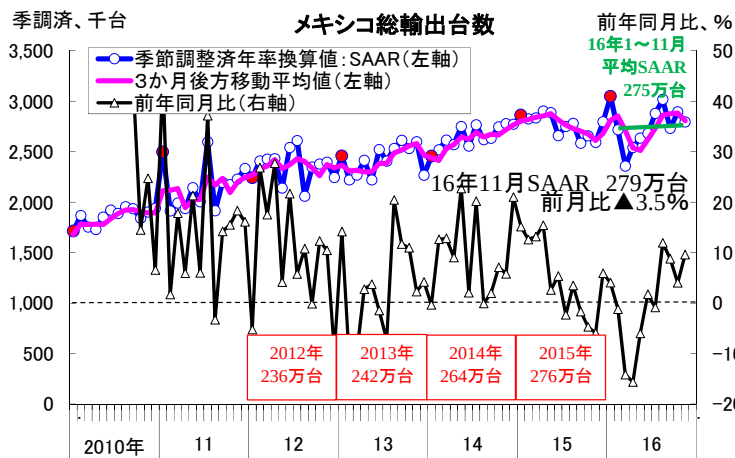
メキシコの主要輸出国である米国での新車販売は増加し続けているが、手放しで喜べるものではない。米国の 11 月の新車販売台数（SAAR）は前月比 0.7%増の 1,816 万台（弊社試算）となった（図表 3）。11 月の販売は前月比で 3 か月連続の増加となったが、大手メーカーが販売奨励金を積み増しており、競争激化を背景に需要の脆弱性は強まっている。足元で米国新車市場がピークアウトしたという自動車メーカーのマネジメントのコメントが増えてきており、米国自動車市場が後退局面入りした可能性が高い。米国新車市場の後退により、メキシコからの自動車輸出に対する下方圧力が今後更に強まる可能性が高い。

メキシコの総販売台数も高水準を維持しているものの、16 年後半に入ってから一進一退が続いており、浮揚感に乏しい状況である。11 月の総販売台数は前年同月比 22.5%増と 31 か月連続でプラスとなったが、SAAR は前月比 4.7%減の 164 万台と 3 か月ぶりに減少した。1～11 月の総販売台数の平均 SAAR（159 万台）は 15 年実績（135 万台）を上回っており、国内需要は今のところ堅調と言えるが、足元の販売モメンタムの減速が今後も続くかに要注意である（図表 4）。

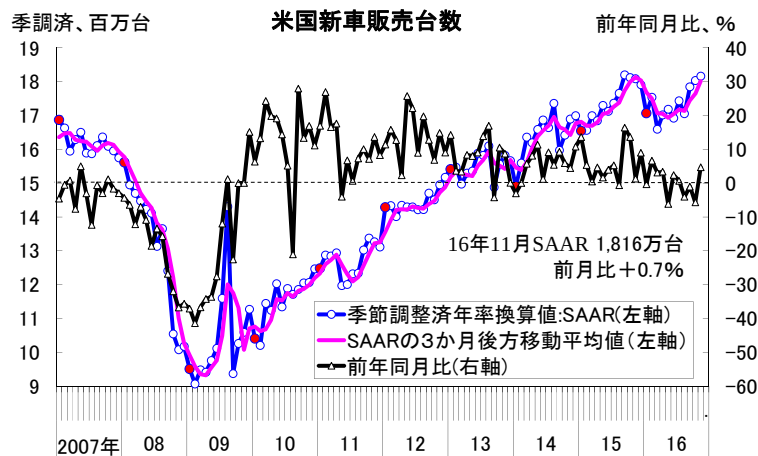
図表 1 生産台数（SAAR）の減速基調が続く



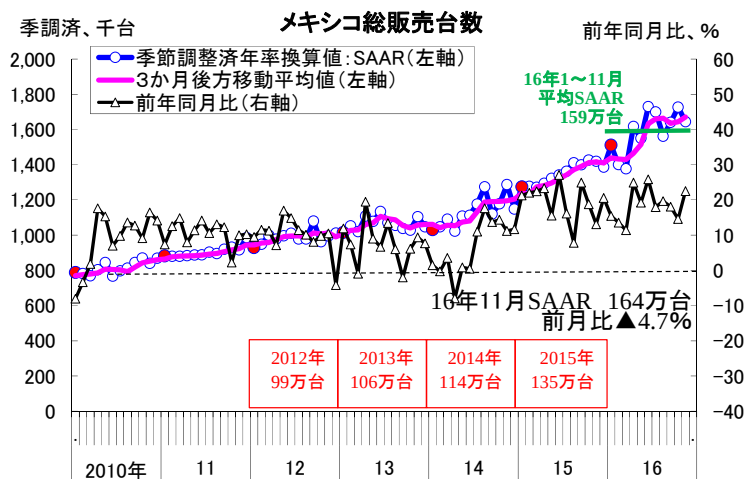
図表2 輸出台数（SAAR）のトレンドは下向く



図表3 米国新車販売は増加継続も持続性は期待できず



図表4 メキシコ国内販売台数（SAAR）もトレンドは頭打ち



本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。